

# 化学療法治療レジメン

申請書  
計画書

〈主治医〉 → 〈薬剤部〉 → 〈化学療法委員会〉

〈主治医〉 → 〈薬剤部〉

芳珠記念病院化学療法委員会

治療レジメン名：	膵・胆道-4 nab-PAC/GEM	総投与時間：約90分
申請医：渡辺 美智夫Dr	催吐性リスク：軽度	最新登録日：2021年 8月

	薬剤名	投与方法	投与量	投与日	クール
	アブラキサン(nab-PAC)	div	125mg/m <sup>2</sup>	D1,8,15	4週間
	ゲムシタビン		1000mg/m <sup>2</sup>		
対象(適応癌種)	治癒切除不能な膵癌				

	薬品名【投与量】	投与方法	投与速度	標準投与量	計算量	投与日
Rp1	デキサート 6.6mg(適宜増減) 生食 100mL	div (ケモセーフ)	250 mL/hr			D1,8,15
Rp2	生食 50mL		500 mL/hr			
Rp3	アブラキサン【 mg/body】 生食 100mL ※生食100mLから必要量の懸濁用生食 を抜き取る。残った生食はすべて抜き取り 点滴バッグを空にする。 ※1バイアル(100mg)当たり生食20mLで 懸濁する。		( ) mL/hr (30分 かけて)	125 mg/m <sup>2</sup>	mg/body	
Rp4	生食 50mL		500 mL/hr			
Rp5	ゲムシタビン【 mg/body】 5%ブドウ糖 100mL		200 mL/hr	1000 mg/m <sup>2</sup>	mg/body	
Rp6	5%ブドウ糖 50mL		500 mL/hr			

コース内投与量調整  
(Day 8,15)の目安

Day 8

投与前血液検査		投与量調整
①	Neu > 1000/mm <sup>3</sup> かつ PLT ≥ 75,000/mm <sup>3</sup>	投与量変更なし
②	Neu > 1000/mm <sup>3</sup> かつ 50,000/mm <sup>3</sup> ≤ PLT < 75,000/mm <sup>3</sup>	1段階下げて投与
③	500/mm <sup>3</sup> ≤ Neu < 1000/mm <sup>3</sup> または PLT < 50,000/mm <sup>3</sup>	投与スキップ
④	Neu < 500/mm <sup>3</sup> または PLT < 50,000/mm <sup>3</sup>	

Day 15

投与前血液検査	Day 8の血液検査の結果	投与量調整
Neu > 1000/mm <sup>3</sup> かつ PLT ≥ 75,000/mm <sup>3</sup>	① 投与量変更なし	投与量変更なし
	② 1段階下げて投与	調節前投与量に戻して投与可
	③ 投与スキップ	投与量変更なし
	④ 投与スキップ	1段階下げて投与
Neu > 1000/mm <sup>3</sup> かつ 50,000/mm <sup>3</sup> ≤ PLT < 75,000/mm <sup>3</sup>	① 投与量変更なし	投与量変更なし
	② 1段階下げて投与	Day 8の投与量を維持して投与
	③④ 投与スキップ	1段階下げて投与
Neu < 1000/mm <sup>3</sup> または PLT < 50,000/mm <sup>3</sup>	①-④の場合	投与スキップ